



高知県保幼小の架け橋プログラム 実践ガイドブック

高知県保幼小の架け橋プログラム実践ガイドブック

令和7年3月

高知県教育委員会事務局 幼保支援課

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号

ホームページ

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/311601/>



【施設名】



令和7年3月

高知県教育委員会事務局 幼保支援課

はじめに

生成AIなどの技術が日常生活に浸透し、働き方や学び方が大きく変化しています。また、グローバル化の進展により、異なる文化や価値観と接する機会が増え、多様性を尊重する姿勢がますます求められています。このような変化が加速する中で、子どもたちが育つ環境も大きく変わりつつあります。「当たり前」と思っていたことが、あっという間に「当たり前」ではなくなってしまう、そのような社会が目の前に広がっています。

将来、社会に羽ばたく子どもたちがこのような世界で力強く生き抜くために、今、どのような「学び」を提供するべきかを考え、今後、さらに創造していかなければなりません。

こうした中、令和6年10月の「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方」に関する最終報告では、幼児教育の重要性や0歳から18歳までの子どもの学びの連続性が強調されています。全ての子どもが格差なく質の高い学びを享受し、その後の学びへ接続できるよう幼児期と幼保小接続期の教育を充実させる必要があります。国では、これを実現するために、現在「幼保小の架け橋プログラム」を推進しています。

高知県教育委員会では、令和4年度から文部科学省による「幼保小架け橋プログラム事業」を受託し、高知市立春野東小学校区1校5園をモデル地域として取り組んでまいりました。このプログラムでは、幼児教育施設と小学校の教職員が協働し、子どもをまんやかにして互いの教育内容について話し合う活動を通して、カリキュラムを作成し実践してきました。今後、この取組を県内全域に広げ、架け橋プログラムを一層普及したいと考え、このたび、「高知県保幼小架け橋プログラム実践ガイドブック」を作成しました。

この実践ガイドブックには、保育所・幼稚園等の学びから小学校の学習へとつなげるための具体的な方法や手順を示しています。保幼小の教職員が子どもをまんやかに協働して架け橋期のカリキュラムを作成し実践する際の支援となるでしょう。

各地域において、この実践ガイドブックを積極的にご活用いただき、架け橋プログラムの取組を充実させていただければと思います。地域の実態に合わせた取組が、子どもたちの「やってみたい」という主体性につながり、一人一人の可能性を活かす教育・保育の実現が図られるものと考えています。

結びに、架け橋プログラムを進めていくにあたり、ご指導いただきました大阪総合保育大学 特任教授 神長美津子様、高知学園大学高知学園短期大学 学長 山下文一様をはじめ、架け橋プログラムに取り組んでいただいた春野東小学校区1校5園の先生方やカリキュラム開発委員の皆様、ご協力いただいたスーパーバイザー・アドバイザーの皆様に、厚くお礼を申し上げます。

令和7年3月

高知県教育長 長岡 幹泰

本ガイドブックは、令和4年度から令和6年度にかけて行った文部科学省「幼保小の架け橋プログラム事業」において、高知市立春野東小学校区で行われた実践をもとに作成されています。架け橋プログラムの実践にて、高知市立春野東小学校区の方々にご協力いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

【「幼保小の架け橋プログラム事業」モデル地域の小学校・園】

（小学校）

高知市立春野東小学校

（園）

高知市立春野中央保育園

高知市立春野平和保育園

うららか保育園

認定こども園 へいわ幼稚園

幼保連携型認定こども園 春野学園

【助言者】

大阪総合保育大学 特任教授

神長 美津子 氏

高知学園大学

高知学園短期大学

学長 山下 文一 氏

【協力者】

カリキュラム開発委員会の皆様

架け橋幼保支援スーパーバイザー・アドバイザー、架け橋保幼小連携アドバイザー の皆様

【参考文献】

文部科学省『幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）』（令和4年3月）